



フィールドワーク風景：紋屋町 三上長屋

分科会主旨

フィールドワークでは、織物の町西陣の京町屋や長屋が普通の生活に密着した京都らしい町を探索。また、分科会では岩手県、福島県の参加者より仮設住宅について集まって住むの視点での報告を聞いた。

フィールドワーク

妙蓮寺：会議室にて西陣の現在の様子などについて講師の小針 剛氏より説明を受けた。また、ご本尊

さまの綿帽子の由来、建物や襖絵、庭の御会式 **桜・妙蓮寺 椿** や雪景色を觀賞し古都の見聞を広めた。

浄福寺通り・大黒町：石畳の道、レトロな外灯など一体化した町並み。大黒町まちづくり協議会が設立され、住民自ら景観に関する協定を定め「職」「住」が一体化した特色のある景観づくりの様子を見た。

岩上神社・本隆寺の土塀・雨宝院：禿童石、土塀、町並みを見聞。

織成館：平成元年に「西陣織屋建」を生かしたミュージアムとして開設。新館、須佐命舎は島根県出雲地方の東須佐小学校の廃材を利用して建築された。

紋屋町 三上長屋：以前は織物の職人さんの長屋住居であったが、現在は写真家、陶芸家、蜂蜜専門店などの多様な価値観をもった職種の人々が、西陣の町や人々に受け入れられての暮らしの様子を見学する。



講師：小針 剛氏



織成館

講師：小針 剛氏

H分科会 「集まって住む」

司 会 塚原 孝子 (佐賀県建築士会)
 アシスタント 荒木 由美 (長崎県建築士会)
 アシスタント 遠島 和恵 (京都府建築士会)
 出席者 34名(うち 近畿スタッフ4名)

仮設住宅について



釜石・平田での一般・子育て・ケアゾーン区分。仮設店舗、スーパーの誘致。診療所、各部分を繋ぐデッキの設置。女性

委員会の花咲プロジェクトの活動状況やアンケート調査の報告。 小山田サナエ(岩手県建築士会)

福島飯野町の各仮設住宅の管理人を女性に依頼して運営を行い喜ばれている。原発による放射能被害による応急仮設住宅の供給状況。女性委員による仮設住宅の調査報告。菅野真由美(福島県建築士会)

まとめ・意見交換・感想(アンケートより抜粋)

フィールドワーク・華やかなイメージの西陣だが何処の地域も抱える時代の流を感じた。・町屋と町の歴史は切り離してはいけないと感じた。

仮設住宅・現状を知る良い機会になった。今後の展開や建築士を活用した良い結果の事例を知りたい。



集合集合：織成館にて